

リビングラボの参加にあたって

基本的な進め方

Listen!

① まず聞こう、知ろう

- リビングラボの趣旨、企画やテーマの意図、ゲストの講演や企業の説明などを聴き、考えるための基礎知識や新しい視点などを知ろう。
- 話を聴きながら、自分の生活や経験、仕事に照らし合わせて、自分の考えもまとめてみよう。

Talk!

② 自分のことを話してみよう

- テーマについて、私がほしいこと、私がしたいこと、私が困っていることなど、自分のことを口してみよう!
- それぞれの考えを聴きあう場なので、「こんな小さなこと」「私の意見なんて」「実現可能性」は気にしないで大丈夫。普段だと“わがまま?”と思うような意見も大歓迎!

Make!

③ 一緒につくりだしてみよう

- それぞれの人のほしいことの共通項や違いを考え、地域で必要とされていることは何か、一緒に考えよう。
- 地域で必要なことを実現するために、どのようなリソース(地域の人のできること、企業の資源、行政の施策、施設など)を活かせるか考えてみよう。
- そこから、地域課題の解決策や、今の企画・活動をより良くする改善策を一緒につくりだそう。

Go Ahead!

④ ふりかえり、次につなげよう

- リビングラボの対話をふりかえり、自分の気づいたこと、感じた可能性などを話してみよう。
- 今日の話し合いを踏まえて、次にできるアクションは何か、話し合おう。

参加にあたって

- 私がほしいこと、私がしたいこと・・・主語は「私」で話しましょう。
- “私”は、好き・嫌い、使いたい・使えないなど本音を歓迎!
- 思いや視点は人それぞれ。自分と違う考えの意見も「なるほど、そういう考えもあるのか」と聴きあいましょう。
- 不安なこと、わからないことは遠慮せずに聞きましょう。
- 一緒に参加したい人がいたら誘って下さい。ともに地域に広げましょう!



日野リビングラボガイド
発行:2019年4月
編集:株式会社エンパブリック

発行・お問合せ先
日野市 企画経営課 戦略係
Tel : 042-514-8038 Mail : senryaku@city.hino.lg.jp

Hino Living Labo

日野リビングラボ・ガイド

地域での暮らしから次世代サービスを生み出す場を共につくろう!

地域の問題が複雑化し、課題解決に新しい発想が求められる中で、市民、企業、専門職が同じテーブルに座って対話し、解決策を共に創る「リビングラボ」が始まっています。

市民



多様な視点から地域を理解する

日々の暮らしで感じるニーズ、問題意識



生活現場に根付いたアイデア、提案

共に考え、試行し、学び合うことから
クリエイティブな解決策
が生まれる

現場で新事業を開発・試行する

企業
専門職



複雑な課題を深く理解する

解決に役立つ専門知識、技術、新商品

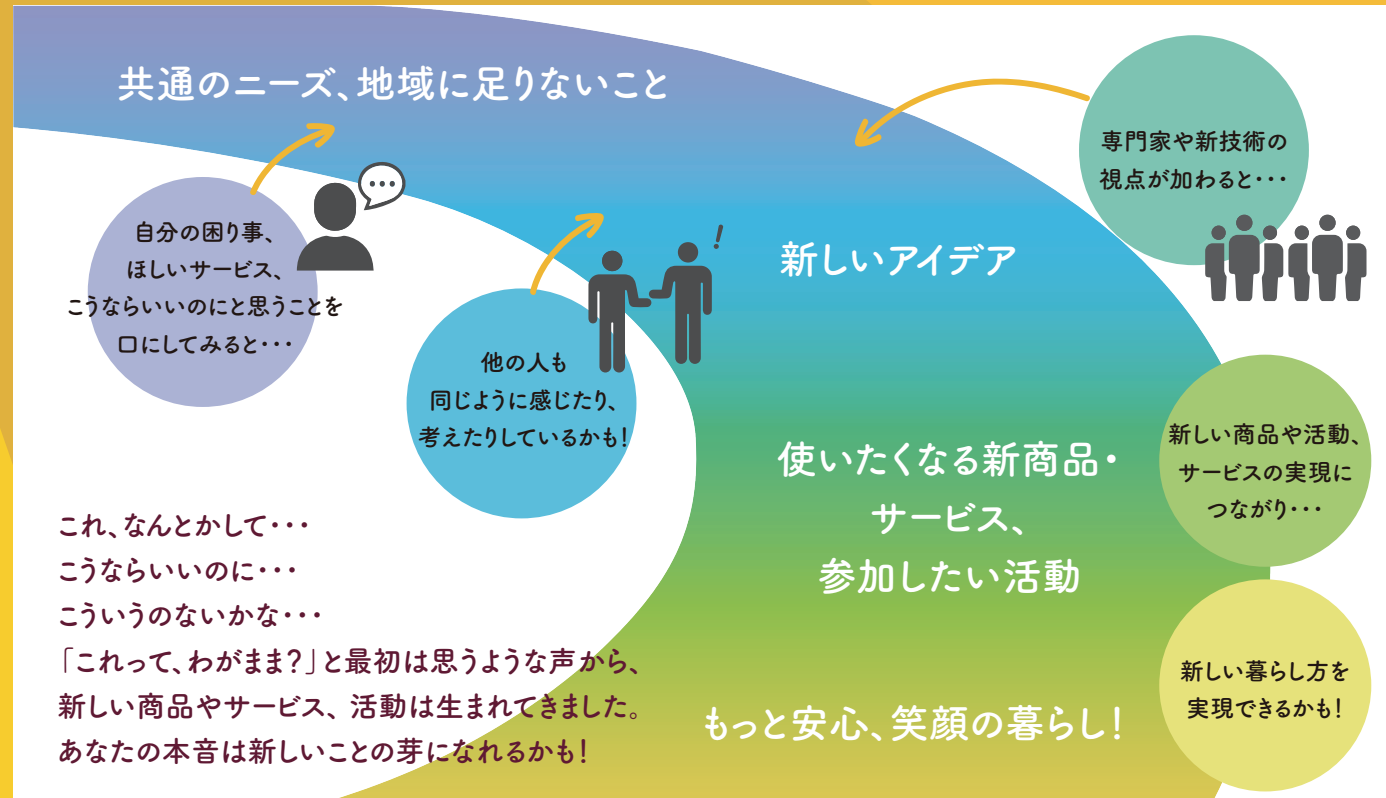


生活の中で使いやすい機能、インタフェイス等

同じ地域課題に対して、市民、企業、専門職が違う視点からの意見を持ち寄ることで、多面的な理解が深まり、対話や試行を共に行うことで、お互いから学び合い、生活に根付いた解決を作り出すことができます。

市民にとってのリビングラボ

あなたの“本音”から、新しいことが地域で始まるかも!?
それって、ちょっとワクワクすると思う方、リビングラボに、気楽にご参加ください!



こんな方、ぜひ、ご参加ください!

- 日頃の生活で「こうならないかな」「こんなのあるばいいのに」と、(漠然とでも)感じていることがある方
- 地域で活動をしていて、「こんな困り事がある」「地域で何とかできないかな」と感じたことがある方
- 子育て、まちづくり、介護など各回のテーマを見て、「おもしろそう、他の人の意見も聴いてみたいな」と思った方

私でいいの? 何を話せばいいの?

「意見を求められても難しい。良いことも言えないし・・・」
そんな風に最初は思っている方も、大丈夫!
ゼロから考えて発言するのは難しいものですが、説明や他の意見を聴いて感じたこと、試してみた感想など、進行役(ファシリテーター)の問いかけに答えていくと、自然に対話に入れます。

日野リビングラボ 2019年1~3月開催の参加者の声



日頃思っても口にすることがないことを話せた。“わがまま”を共有することがこんなに楽しいとは!

暮らしをよくしていきたいと考える人、「できること」を持っている人が身近にたくさんいることに気付いた。

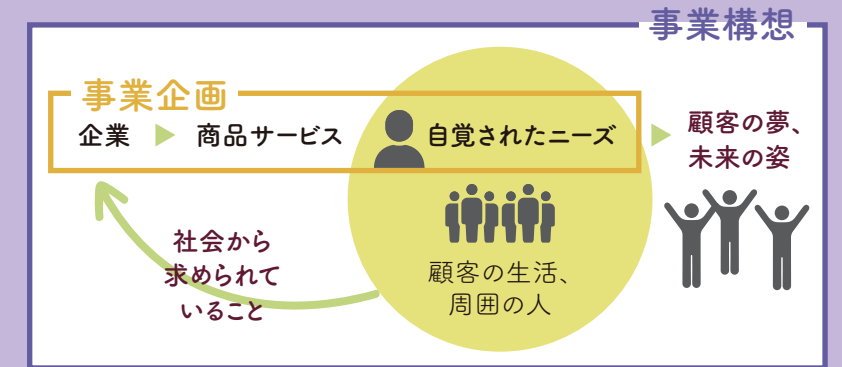
困り事やできることを結び付けると、解決策を生み出せそう。始めてみたくなった。

シェア・サービスの不安な点で共感できる意見があった

企業・専門機関にとってのリビングラボ

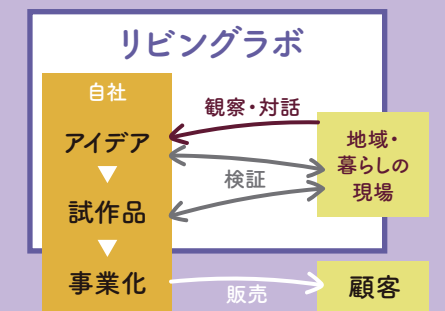
対話を通して、見えなかったニーズが見え、新しいサービスやそれを広げるヒントが見つかるかも!

これまで企業や専門機関は、顧客の求めに応じて商品、サービスを提供してきました。(事業企画)
しかし、変化が激しく、価値観も多様化し、モノもサービスも溢れる中で、複雑な生活や地域の課題に対応した価値ある新商品・サービスをつくるには、視野を広げ、高い視座からの「事業構想」が求められています。



現場で対話し、生み出していく!

- 社会課題解決に役立つ新しいコンセプトの商品やサービスを考え、現場で使えるように開発していくのは、会社の会議室の中ではできません。
- 地域・暮らしの現場に参加し、専門や技術を知る眼から観察や対話を重ねることで、新しいアイデアが生まれてきます。
 - アイデアや試作品を現場の中で、市民と共に検証し、ブラッシュアップすることで、ニーズ理解が深まり、本当に必要なことを見出していくことができます。そのプロセスと場を提供するのがリビングラボです。

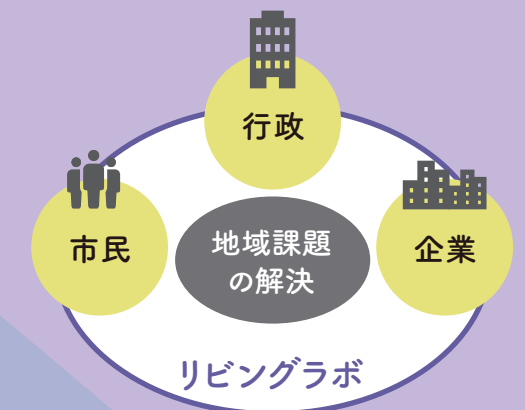


企業の方の参画にあたってのお願い

リビングラボは、新しいビジネスの芽を探り、生み出していく場です。ただし、「ビジネスのためだけの場」ではなく、市民、行政、企業が協力して「地域課題の解決策を探る場」です。

そのため、下記をご理解、ご協力いただき、ご参画ください。

- 参加することで行政や地域関係者の購入の確度が上がるなど、営業に直結する場ではありません。
- 「企業の知りたいことを知る」だけでなく、住民の多様な声を聴き、共に考えるプロセスにご参加ください。
- 対話には、個人としてご参加ください。オブザーブのみの参加はしないでください。
- 対話の場で出された意見やアイデアは公的なものとして扱います。



企業の方の参画プロセス

新しく開発したいテーマの持ち込みは歓迎です!

地域には多様な課題があり、新しいアイデアが求められています。提案を歓迎しています。

市、ファシリテーターと進め方を設計します。

地域にも企業にも意味のある場となるよう設計します。

場に参加し、理解を深め、可能性を探ります

対話の中で、企業からの説明や試行の機会を組み込み実施します。